

COVID-19陽性患者もしくは疑い患者に対する手術時の感染対策Case Report集計結果(10月12日から10月18日回答分)

	症例数	手術	
陽性患者	1	開腹術	1

COVID-19疑い患者	3	開腹術	2
		血腫除去	1

事前シミュレーション実施	あり	1
	なし	3
	記載なし	0

手術室で気管挿管	3	McGrath	3
(喉頭展開1回で挿管)	(3)	AWS	0
既挿管	1		

PPE	フェイスシールド	1
	ゴーグル	1
	シールド付きマスク	2
	記載なし	0
	N95	3
	PAPR(動力付き)	1
	手袋2枚	4
	手袋1枚	0

自由記載

疑い	血腫除去術	困ったこと:最低麻酔科医が2名必要で、マンパワー不足になる。事前の準備に時間がかかり、勤務時間が長くなる。 工夫したこと:患者のマスクを挿管する直前まで外さないようにしている。
	小腸切除術	アイソレーションボックス(エアロゾルボックス)を使用した。